

発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
TEL 0267-23-8880
FAX 0267-25-2224

No.863



11/18(木)開催 こもろ女性の家講座

『お正月を楽しむ』～水引～



紅白の水引を使って、吉兆結びの基本形となる「あわじ結び」を学び、その後、「葉の花結び」「梅結び」あわじ結びを連続して結ぶ「横連続あわじ結び」に挑戦しました。水引がなかなかうまく揃わず悪戦苦闘していましたが、それぞれ素敵な水引飾りが出来上がりました。お正月飾りが華やかになりますね。



11/25(木)、26(金)開催 女性学級
『グリーンスワッグ作り』

女性学級では、11月25、26日に2班に分かれて、講座「生活 ゆとりを生む手作りのとき」グリーンスワッグ作りを楽しみました。もみやブルーアイスの枝を束ねてローズヒップや松ぼっくりなどで飾り、クリスマス用にリボンを結び、お気に入りの作品ができました。



❖内容

- p.16 新年のご挨拶
- p.17 『ぼくとわたしの作品』 (美南方丘小学校)
- p.18 『人ひと』 (芝生田区 安田操・繁子)
- p.19 『えんぴつリレー』 (大手区 樋口光代) ほか

- p.20 『今支館・分館では』 (谷地原分館／南大井支館)
【募集】2月公民館講座
- p.21 『俳句・短歌』 (てまり句会／土笛小諸短歌会)
【ご案内】第28回小諸・藤村文学賞ほか

新年明けましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

私の小中学校時代、元旦の朝「新年祝賀式典」が挙行されてきました。冷気漂う講堂に全校生徒が整列、校長先生と来賓の祝辞を拝聴、「君が代」「一月一日」を斉唱し、厳粛に新年を祝ったものです。以来元旦の記憶は無心な私を呼び覚まし、新年の決意を新たにする契機となっています。

当時は戦後の復興期、子どもながらその責任を背負うように、勇ましい面立ちが揃っていました。長じて彼らも民主国の礎となるべく復興に心血を注いだにちがいありません。

近年、地震・コロナ感染等災害が多発し、被災の救済と復興が急がれています。不安は募りますが、敗戦の窮状から立ち上がった母国を思う時「大丈夫」と叫びたくなります。

日本の英知を結集して難局に対処している皆さんの声に耳を傾けませんか。日常の小さな幸せを毎日数えてみませんか。そして「多幸・ご多幸」を新年の決意に連ねませんか。

編集委員 小宮山 季



謹賀新年

「新春を迎えて」

小諸市教育長 山下千鶴子

新年あけましておめでとう
ございます。

旧年中は、公民館活動の
様々に関わっていただきあり
がとうございました。

長年携わった公民館講座を
受講される方々との出会いが
思い出されます。小諸市民大
学、こもろシニア教室、女性
学級、公民館講座にこもろ女
性の家講座、多くの登録団体
が行う各種サークル活動の
数々。加えて昨今の新型コロナ
ウイルス感染症との闘い。
何回かの自粛が求められまし
たが、感染レベルの下がる日
を心待ちにし、自粛解除とな
ると感染対策に神経が払われ
ました。検温や手指消毒、マ
スク着用はもとより、収容人
数の制限、換気の義務付け、
飲食禁止、使用物品の消毒等
おかげさまで、公民館、各地

区公民館活動による感染拡大
は免れました。利用される
方々のご協力なくしては到底
できないことでした。

さて、人生百年という時代
を迎えています。百年という
長い人生をいかに生きるかは
現代を生きる者に共通して大
きな問題です。

この頃あるサークルで、講
師が渡米するため3カ月ほど
お別れすることとなりました。
寂しいな、ご両親に何か日
本的な物でもプレゼントでき
たら…と漠然と考えている仲
間たちでした。渡米まであと
3回を余す講座終了時、メン
バーの一人が数枚のプリント
を配布、賛美歌が印刷されて
おりました。遠慮がちに「先
生の渡米前の最終講座の折、
私に5分ほど時間をください
い」と言うのです。皆で歌っ
てお送りしたいけれど、講座
の学習を中断させてはいけな
いと悩んだ末の「5分くださ
い」だったのです。すかさず、

「パーティーですね。楽しみ
ですね。」と講師の一言。わ
ずか数分でパーティー内容ま
で計画されました。いよいよ
当日、誰もが別れのメッセ
ージに心を尽くしたこと、皆
で歌ったこと、胸を張って
「同士」と宣言したくなる嬉
しい気持ちになったことは言
うまでもありません。思うこ
とは集うことの価値です。5
分を要求した彼の発想と語り
口にも脱帽でしたし、年齢も
性別も育った環境も趣味も人
種も関係なく、仲間として集
うこと、そして自分にはなか
った考えを共有できることに
感謝しました。改めて公民館
活動の存在意義の一つを確認
した思いです。

この冬は降雪の多い年との
こと。寒さに負けずにお過ご
しくください。皆様のご健康と
ご多幸を祈念申し上げます。



「転換期の公民館」

小諸市公民館長 内堀 浩宣

市民の皆様には、希望に満
ちた新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。旧年中は、
公民館をはじめ文化センター
の諸事業に対し、ご支援ご協
力を賜り心より感謝申し上げ
ます。

新型コロナウイルス感染症
に振り回され2年になります
が、今年度公民館では、9月
の「命と暮らしを救う集中対
策期間」の取り組みにより延
期や中止した期間もありまし
たが、感染予防対策を徹底し
て講座や教室をはじめ、催し
物そして貸館を行ってきたと
ころです。

幸いにも感染警戒レベルが
「1」（平常時）に引き下げら
れたこともあり、10月9日
(土・10日(日)には、3年ぶり
となる「第37回公民館まつり」
も「集う」かたちで開催する
ことができ、内容を一部制限
せざるを得ない状況でも約1
000人の来場者がありました。
落ち着いた雰囲気の中で、
活動されている皆さんの発表
の場、張り合いにつながり、
来場者の皆さんにとっても楽

しみな場だということを改め
て感じたまつりでした。やっ
てよかったと素直な気持ちで
す。

地域の公民館でも、コロナ
禍で事業がなかなかできず、
役員の皆さんをはじめ大変ご
苦労されていることと思いま
すが、人々が「集って・学ん
で・結ぶ(つながる)」とい
う公民館の役割を再認識する
ところです。

意識や生活スタイルが変わ
り、デジタルネットワーク社
会が進む中で、変えてはなら
ないもの、変えてよいもの、
変えなくてはならないものは
何かをよく考え、新たな発想
を取り入れ、これからの公民
館のあり方を探っていく必要
があります。

公民館に期待されているこ
とや、役割を再認識し、住民
の生きがいづくりと地域づく
りのため、学習そして支援に
一層努めてまいります。本年
も市民の皆様のご支援ご協力
をよろしくお願いいたします。



美南ガ丘小学校



「宇宙の自由研究」

5年1組

ひなた ことね
日向 琴音

夏休みの自由研究で、宇宙のことがとても気になっていたもので、宇宙のことを調べました。理科の先生に宇宙のことを教えてもらったり、インターネットや本で調べたりしました。もっと調べたくて、いとこや友だちに宇宙の本を借りたり、家族に宇宙のことがわかる施設に連れて行ってもらったりしました。

いろんな方法のおかげでよい作品ができました。銅賞は取れなかったけど、佐久科学作品展に出品してもらったので嬉しかったです。来年は、もっとよい作品をつくりたいです。

「自分研究」

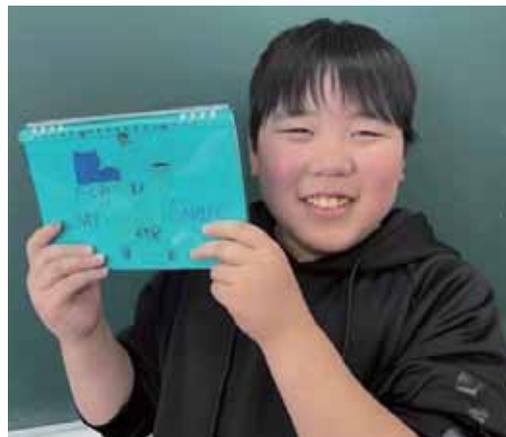
5年2組

みうら たくみ
三浦 拓己

ぼくは、「自分のことを知りたい。」と思い、夏休みに「たくみの取説 MY DUNGEON CARD」を作り、自分研究をしました。

自分のことを調べるにあたって、一人では難しかったので、お母さんに協力してもらいました。お母さんと話したり、自分の行動をふりかえったりして、だんだんと自分のことを知ることができました。

今までは、自分のことをあまり知らなかったけど、自分研究を通して、自分のよさや個性を知ることができてうれしかったです。今度は家族や友だちのことについても知りたいです。



「手作りランプ」

5年3組

しおかわ ふうた
塩川 鳳大

夏休みの一作品で、何を作ろうか迷っていた時、ユーチューブで面白そうなものを見つけました。まず、風船をふくらませて、その上にぬらした新聞紙を何まいにも重ねていきかわかします。一番上にはぬらした和紙をのせて絵の具をたらしてにじませます。風船は自然にしぼみます。中にライトを入れてできあがりです。暗い所で見ると、とてもきれいです。

「自分用のバチ」

5年3組

かねこ しょうへい
金子 昇平

「太鼓の達人で使いやすいバチがほしいなあ」それが、ぼくがバチを作ろうと思ったきっかけです。

四角い木材をやすりでこすり丸くしていきました。先の方は細くして、持つところはすべらないようにグリップテープを巻きました。とても時間がかかって大変でしたが、自分専用の使いやすいバチが作れてよかったです。





9月中旬に、芝生田区に移住された安田操さん・繁子さんご夫妻のご自宅を訪問しお話を伺いました。

「夫婦で探し当てた孫たちに自慢できる最高の我が家」
芝生田区 安田 操 さん
繁子さん



庭で孫たちに囲まれて

どちらから小諸に移住されましたか？
妻は14年前に千葉県柏市か

ら移住しました。私は勤務地の関係で一緒に移住することができず、5年程単身赴任をしてから定年を機に最後の勤務地の前橋市から小諸に移り、そこから夫婦揃って小諸での生活が始まりました。

小諸に移住されたきっかけは？

私が公務員のため、長く公務員宿舍での生活が続いたので、定年後はゆっくり田舎で一戸建ての家に住みたいとの長年の思いから、二人で2年程住まい探しがスタート。佐久市周辺を先ず候補地に決め、何度か柏市から足を運びました。

煙を上げる浅間山、八ヶ岳連峰、蓼科山など雄大な自然を一望できる素晴らしい魅力を感じていましたが、中々決め手になる物件が見つからず、小諸までそのエリアを拡大し探し始めたところ、偶然にも今住んでいる芝生田の建物が売りに出されている情報が耳に入り、早速見に来ました。南斜面の2階建て。庭も広く日当たり良好。そこから眺望も一目で気に入る購入を決めました。自宅から新幹線や高速道路などアクセスが

良く、周囲は田や畑に囲まれ、子どもや孫たちに自然を体験させるにも最適な所であったと思います。

現在の生活は？

周囲の皆さんが心温かくてとても親切で親しみやすく、毎日の生活に張り合いがもてることに感謝しています。自宅近くに100坪程の畑を借り受けましたが、二人とも野菜づくりは全くの素人。見様見真似で、人が種を蒔いたと聞けば直ぐに種を蒔くなど。地元の方々からは熱心に野菜作りを教えていただき、今では新鮮で立派な野菜を作っています。トマト、なす、きゅうり、白菜、玉ねぎなど種類も多く、食卓を賑わせています。採れたての野菜は子どもたちに好評で、新鮮で格別美味しく、美味しく喜んでもらっています。時には、孫たちに種や苗



沢山取れた新鮮な野菜



公民館で留学生が餅つき体験

の植え付けから収穫まで手伝ってもらい、収穫の喜びを共に味わっています。

また、私は念願だった日曜大工を始め、妻の要望でウッドデッキやテレビ台などの木製家具の多くを作っています。最近腕も上がり、子どもたちの注文で本棚などを作り、喜んでもらっています。

小諸に移住してから2020年まで、デンマークなど北欧を中心に日本語に関心のある語学留学生を自宅に受け入れるホストファミリーの取り組みを行っていました。留学生には、芝生田区の公民館祭りやワイナリーの収穫祭などに参加してもらい、日本の文化に触れる貴重な体験ができるようにしていましたので、国際交流に少しでも貢献できたと思っています。コロナ終息後は、再び受入れを始めたと思っています。

小諸の印象は？

小諸の冬は雪が多く、大変寒い所と聞いていましたが、雪は少なく、晴天率が高いことが先ず感じた印象です。冬寒い分、夏は涼しくエアコン無しでも夜寝苦しいと感じたことがなく快適です。春の懐古園の桜など、一年を通じて自然が豊かなところが気に入っています。

今後の目標や抱負は？

コロナ禍で昨年から区の公民館行事などが中止になっていますが、区の行事が再開されたら、また夫婦揃って区民の皆さんとの触れ合いを大切にしていきたいと思っています。長野県は観光地で温泉が多いことから、孫たちも交えて好きな温泉巡りを再開する日を心待ちにしています。

子どもさんやお孫さんたちが楽しみに集まって来る自然環境に恵まれた理想の住まいと感じました。安田さんご協力ありがとうございました。
編集委員 小田中 衛



『詩吟のお仲間に入れていただいで』

大手区 樋口 光代



「詩吟の勉強を一緒にしてみませんか。」と先生にお声掛けいただいて、平成18年1月から、お稽古が始まりました。詩吟は、子どもの頃、町内での何かの会で一度、そして中学時代、校長先生が講堂で「少年老い安く、学成り難し一寸の光陰軽んずべからず」と吟じて、お話しくださった時との2回だけで、それ以来全くご縁がありませんでした。

お稽古を始めてから初めて

の新年大会では、吟じられる詩吟が大変力強く、特に99歳になられた先生のお声にみなぎる気力・氣迫に、圧倒されました。

月に3回の充実したお稽古。そしてその後はお茶をいただきますながら会話が

がはずみです。2年程前の、

春のお花見会では、頭上で

さえずる小鳥の声が、まるで、私達の吟

ずる声に合わせるように聞こえる

ように聞こえ、物語の世界に

いるようでした。

夏の暑気払い、冬には忘

年会も欠かさない楽しみ

です。

講習会では、特に俳句での



春のお花見会

講師独特の節回しに、すっかり引きつけられ、詩吟の世界の深さに魅了されます。

もう何年も前のことになりましたが、長野地区吟詠大会に、私達教場が出場することになりました。鹿嶋神社の境内を

何度もお借りして、大変熱心にくり返し練習に励んだこと

もございました。

白鷺城や東大寺、そして芭蕉の生家等々を訪ねての観光旅行にも参加でき、よく学び



よく遊べの境地に浸らせていただいで参りました。

高校時代に習いました李白りはくとほ杜甫すい、菅原道真すがわらのみちざね、頼山陽らいざんようの漢詩、また和歌、俳句、近代

詩等々幅広く文学の世界に触れながら、いつの間にか16年

になりました。

始めた頃より、息が長く続き、声も多少大きくなったのではないかと、勝手に満足して、感謝しています。

9月4日開催予定だった浅間吟道会65周年記念大会が、延期になっています。コロナの流行が、一日も早く落ち着いて欲しいと願っています。

第57回児童生徒新年書初め展

市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通う児童生徒の新年への希望や決意を込めて書いた作品を展示します。

- 開催日 令和4年2月4日(金)~6日(日)
- 時間 9:00~17:00 (最終日は16:00まで)
- 会場 乙女湖体育館 (小諸市文化センター内)
- 問い合わせ先 児童生徒新年書初め展事務局 (小諸市文化センター内) ☎ 0267-23-8880

今支館・分館では

『アサギマダラの里』谷地原

「また来てねー」
by やちっこクラブ
— 谷地原分館 —



アサギマダラとフジバカマ

秋晴れの暖かい日差しでの気持ちのいい朝、『アサギマダラ』がフジバカマの花に戯れていました。谷地原区の中央道路脇に『アサギマダラの里』が作られたのは2013年のこと。やちっこクラブの皆様が、不思議な渡り蝶『アサギマダラ』を地域の子どもたちに見せてあげたいとの想いで始まった活動です。地道な活動が実を結び、ここ



マーキング

にも飛来してくれるようになりました。

海を渡り2000kmもの旅をする不思議な蝶『アサギマダラ』：その優雅で可憐な姿を見るため、散歩の途中に立ち寄られる方、写真を撮りに来られる方、そしてお父さんお母さん・おじいちゃんおばあちゃんと一緒に胸躍らせて来る子どもたちが、ここに集まっています。やちっこクラブの皆さんの願い通り、地域の憩いの場となっています。警戒心の薄い『アサギマダラ』は人が近づいても逃げた

りせず、小さな子どもたちでも捕獲することが容易です。でも「また来てねー」の想いを込めてそっと放してあげます。そんなやさしい気持ちで大切に、次の飛来シーズンが楽しみです。

『活き活きパワー全開』

第13回南大井マレットゴルフ大会
— 南大井支館 —



ナイスパット!

御影マレットゴルフ場は一面木漏れ日に包まれて大会に華を添えています。9月25日(土)、待ちに待った第13回・南大井マレットゴルフ大会が2年ぶりに開催されました。参加者48名、例年の70%程度に人数を抑え、スタートも1ホールおきに間隔をあけて、感

染症対策も施されました。各ホールから「カーン」と澄み切った快打音、「オー」という歓声と拍手、ときには「ア〜」という悔しがる声と笑い声が会場に響き渡っていました。皆さん活き活きと楽しまれていた姿が木漏れ日の中で輝いていました。

日頃慣れ親しんだ会場とはいえ、参加者平均年齢77歳、平均スコア79、優勝スコア65：なんとレベルの高い大会でしよう。男性最高齢88歳、女性最高齢85歳、活き活きパワー全開ですね。

編集委員 宮沢 芳文

— 2月公民館講座 —

受付は平日9:00~17:00。申込み多数の場合は初心者優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止により講座が中止や変更になることがあります。



お家時間を楽しむ

紙バンドで素敵なクラフトバッグを作ろう

【講師】小須田千景

◇日時 2/2(水)、9(水)、15(火)
13:30~15:30

◇場所 第一講義室

◇定員 20名

◇材料費 1,000円

◇持ち物 ハサミ・洗濯バサミ20ヶ

◆申込み期間 1/5(水)~18(火)



4位	準優勝	準優勝	優勝	【地区対抗成績】	3位	準優勝	優勝	【個人成績】
平原区	池の前区	一ツ谷区	御影区	平均スコア73	平均スコア66	小林 友和(二ッ谷)	小林 光行(平原)	スコア65
平均スコア79	平均スコア78	平均スコア78	平均スコア78	平均スコア68	平均スコア66	塚田二美子(御影)	スコア68	スコア66

俳句

てまり句会

● ままごとに招かれていたかがしかな
工藤 貢

● 高空の雲をしるべと鷹渡る
石田 経治

● 日の丸のたなびくばかり文化の日
野中 威

● マスクして自己主張する睫毛かな
木村 さとみ

● 皆よけて行け蓑虫の気ままなる
松本 千代美

● 仮の世と思ひつつ長し冬木の芽
国見 敏子

短歌

土笛小諸短歌会

● 台風の去りし静かな夜の更けに
カーテン操れば月の冴えいる
柳沢 つる子

● いわし雲「スイミー」みたいに寄りあった
夕方空は青い海原
田中 邦

● 気になりし窓の下のくさむらに
忽然と咲くコルチカム一輪
小野山 玲子

● 休耕地に咲き乱れたるふじばかま
アサギマダラをあまた引き寄す
井出 宣子

● 田の畦の吾の好める吾亦紅
刈られぬように夫柀くる
小林 りつ子

● 隠元の「への字」「くの字」や太っちょよさん
かすかに甘い匂をいたたく
松村 泰子

締切間近 第28回 小諸・藤村文学賞《作品募集》



- 作品内容 作品ジャンルは、エッセイ（随筆）に限る
 - 募集対象 一般の部
 - 入選作品 最優秀賞1名／優秀賞2名／佳作 若干名／市長賞1名
 - 応募方法
 - ・400字詰め原稿用紙A4判又はB4判縦書き（手書きの場合、鉛筆不可）
 - ・原稿用紙10枚程度（上限11枚）
 - ・原稿用紙右側余白に縦書きで「郵便番号・現住所」「氏名（フリガナ）・年齢・性別・電話番号」を明記
 - ・応募作品は1人1編で、未発表の作品に限る
- ※入賞作品著作権は、主催者「小諸市」に帰属し、応募作品の返却はいたしません。
- 賞状・賞金 賞状及び副賞（賞金）*市長賞は賞状のみ
 - 締切日 令和4年1月31日（月）（当日消印有効）

▼作品送付先及び問い合わせ先
〒384-8501 長野県小諸市相生町三丁目3番3号
小諸市教育委員会「小諸・藤村文学賞」事務局宛
TEL 0267-22-1700（内線2281） / FAX 0267-23-8857

小諸市文化会館より

1～3月のホールイベントはありません。

舞台装置の改修工事（3月末まで）のため、ホール及び練習室のご利用ができません。安全にご利用いただくための改修工事です。ご理解ご協力をお願いいたします。

文化センター施設・備品受付開始日

- 【公民館・こもろ女性の家】 令和4年3月利用 予約1月4日ⓧ（貸出備品含む）
- 【乙女湖体育館】 令和4年7月利用 予約1月4日ⓧ
- 【文化会館】 令和5年1月利用 予約1月4日ⓧ